

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第7期第8回相模原市中央区区民会議（全体会）		
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時	令和5年12月22日（金） 10時00分～11時54分		
開催場所	けやき会館 2階 職員研修所 大研修室		
出席者	委員	20人（別紙のとおり）	
	その他	0人	
	事務局	18人（中央区長、中央区副区長、他16人）	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p style="text-align: center;">1 議題</p> <p style="text-align: center;">（1）提言書（案）について</p> <p style="text-align: center;">（2）各グループの進捗状況について</p> <p style="text-align: center;">2 その他</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>		

主な内容は次のとおり。(◎会長の発言 ○委員の発言 ●事務局の発言)

開 会

区民会議規則第3条第3項の規定により、飯島会長が議事を進行した。

— 傍聴希望者 なし—

～小委員会（グループワーク）の開催～

※会議録については、各小委員会にて作成

1 議題

(1) 提言書（案）について

・グループ2において決定した「地域資源を活用した移動支援に対する提言書（案）」について、横山委員より説明を行った。

○（坂本委員）

相模原市自治会連合会に対する提言を入れた理由は。

⇒●（事務局）

グループ2では、地域が主体となって移動支援を検討していくことが、地域による移動支援の目指す姿であると考えた。そのため、市自治会連合会に対しての提言ではあるが、場合によっては各地区自治会連合会や単位自治会で、移動支援について検討いただくのがよいのではないかとのお話し合いの結果となった。

○（坂本委員）

自治会にこのような提言をされたら反発が起きるのではないかと。単純に、青色パトロールカーを地区自治会連合会や単位自治会で運営しているところがあり、それを使うからということであれば話は別である。

⇒●（事務局）

市自治会連合会だけに検討をお願いするのではなく、提言書の2として、相模原市にも提言することで、市も一緒に動いてもらう考えである。

○（山口委員）

青色パトロールカーは、地区で所有しているところもある。そのため、このような提言をされると反響があるかもしれない。

⇒●（事務局）

最初は、青色パトロールカーを前面に検討を依頼することも考えたが、地域を限定してしまうため、今回の提言書では、青色パトロールカーを限定せずに、「青色パトロールカー及び社会福祉法人所有の車両等」の地域資源という表現にした。

◎（飯島会長）

このような事業の検討をお願いするという提言であるため、検討の結果それは難しいという判断もあるのではないかと。あくまで、事業の実施をお願いするのではなく、事業の検討をお願いするという内容である。

○（山口委員）

青色パトロールカーを所有していない地域もあるので、この書き方でよいと思う。

○（入谷委員）

自治会に何でも提言するというのではなく、青色パトロールカーは毎日稼働しているところもあれば、月に数回稼働しているところもある。青色パトロールカーとして使用していない時に、車両（地域資源）として眠らせておくのではなく、地域として活用できないかというようなことを検討していただく内容である。

○（坂本委員）

それであれば、自治会に焦点を当てないで、各地区のまちづくり会議への提言に修正してはどうか。自治会への提言は絶対に反発が起きるから。この内容で提言されても私の住んでいる自治会ではやらないと思う。現実的にやれない。

○（割柏委員）

提言書の中で、先行事例として光が丘地区が記載されており、光が丘地区が主体でやっているように見えるが、実際は、地域包括支援センターが主催する地域ケア会議内の「地域づくり部会」が買い物お助け隊を運営しており、構成は社会福祉協議会、地区自治会連合会、民生委員児童委員協議会などが入っている。車両については、以前は県央福祉会から調達していたが、現在は相模福祉村の協力を得て車両を調達している。相模

福祉村の事業にも組み込まれている。地域だけで運営していくことは難しい状況である。ドライバーが高齢化し、新たなドライバーを自治会でも協力して探しているが難しい。特に今は、買い物に送った際の荷物持ちや乗客の介助など、単なるドライバーでは済まない状況になっている。事業を進めていくと色々な問題が生じている。元々は地域で立ち上げて地域で運営していければと考えていたが、費用面も含めなかなか地域だけでの運用は難しい状況である。そのため、実態は地域づくり部会が担っているが、坂本委員の発言のようにまちづくり会議に大枠として提言するのが良いのではないかと。

◎ (飯島会長)

ご意見のあった部分について、事務局で文面等を調整してもらい次回に再提案としてよいか。

○ (坂本委員)

文言を市自治会連合会からまちづくり会議に修正するだけで良いのではないかと。

◎ (飯島会長)

提言先との調整もあるため、単純に文言修正だけではいけないところもあるため、事務局に調整していただき、次回、再提案とする。

(2) 各グループの進捗状況について

【グループ1】

○ (加賀谷委員)

学習支援に限らず、子どもが集える居場所の環境づくりという視点から、本日は子ども食堂等のボランティアを充実させるためにはどのような方策があるかという事について意見を出し合った。

- ・ 先ず、ボランティアの対象は、自分で判断できる中学生以上でと考えている。
- ・ また、ボランティアを始めるための研修講座が必要であると考えている。ただし、この研修講座を必ずしも受けなければボランティアに参加することができない訳ではないため、研修を受けなければ参加できないという意識とならないことが大切である。
- ・ ボランティアをこれから始めたいと思っている人へのサポート窓口が必要である。
- ・ 各地区で活動している居場所の状況を把握し、連携することが必要である。
- ・ 既に行われている研修や設置されている相談窓口について周知が不十分である。
- ・ 各区で年1回開催しているボランティアセミナーや市と社会福祉協議会が連携している子どもの居場所セミナーなどの開催周知が関係者以外の人に届いていないため、今後、周知方法についても考えていく。
- ・ その他の意見として、なぜこのような研修や講座が必要なのかについて、学習支援では教え方もあるが、子どもに関わる人の考え方、寄り添い方に差があるため、研修をすることで、今はどのように関わっていくのが良いのかなどを共有してほしい。

◎ (飯島会長)

私は、青山学院大学のシビックエンゲージメントセンター（旧ボランティアセンター）長を務めている。その中で、子ども食堂等については学生の関心がとても高いので、ボランティアを募集すると沢山応募があり、学生が参加してくれて非常に良い。しかし、単発での参加となり、2回目以降の連絡等が無く継続していかない。ボランティアの受入体制が大丈夫なのかと感じる。毎回、毎回異なる学生が行くので、受入れ団体としても毎回同じ説明をしなければならない。そのような状況を踏まえて検討いただきたい。

【グループ2】

○ (入谷委員)

- ・ 1つ目は、先ほど提案した提言書について話し合った。
- ・ 2つ目は、「令和5年度地域のおでかけサポート活動報告会～相模原市中央区住民がつくる外出支援～」が先日開催され、その報告会の資料が共有された。
- ・ 3つ目は、「令和5年度小山地区まちづくり会議の方向性について」。小山地区まちづくり会議では、相模原駅北口（補給廠一部返還地）の利用について、こうあってほしい、こうすれば地域の為になるのではないかなどを検討し、まとめたので、その内容を報告した。

◎ (飯島会長)

補給廠の一部返還地については、区民会議としても何かいうべきか。取り敢えず現段階

としては行方をみるという感じでよいか。

○（入谷委員）

行方をみるという感じでよい。この案件については、市で他の会議体があり、検討を進めている。小山地区としてもあくまで地表面の利用について提言をしたところである。

◎（飯島会長）

相模原駅北口の関係は様子を見ていくこととする。

【グループ3】

○（丹波委員）

- ・本日は、今ある自然を守る、市民全体の意識を高めるということが必要であると考え、水みどり環境課から市の計画や緑とは何か、緑を守る取組について簡単に説明を受けた。その上で、区民会議として市民の意識をどう高めるのかについて話し合った。
- ・方向性としては、緑や自然についての講演会や講座を開催していくのはどうか。
- ・区民会議は開催の主体とはなれないので、具体的な開催主体等については次回検討することとした。

2 その他

○（区政策課梶原課長）

- ・前回の区民会議で報告した区民アンケートについては、皆様からのご意見等をいただいた。アンケート内容の修正意見は無かったので、前回お示しした内容で12月15日（金）に発送した。現在、発送した区民アンケートに対する問い合わせ等の反応が返ってきており、本日時点で100件（郵送4件、インターネット96件）の回答をいただいている。1月21日までとなっているので、まとめ次第、区民会議で報告する。

○（地域振興課橋本総括副主幹）

- ・1月6日、7日に麻布大学で開催される「わんわんマルシェ」について、チラシを机上配布した。イベントの趣旨は、犬の飼育が地域の繋がりや人々の幸福度を高めるのではないかとということで大学が調査研究を行っており、その研究の一環として開催するもの。中央区としてもこのイベントに協力をしており、中央区のPRブースを出展する。犬を連れてくる方も、連れていない方も参加できるイベントなので是非お越しいただきたい。
- ・中央区役所では、「中央区花手水」という取組を行っている。花手水は神社の手水舎やそれ以外の場所でも睡蓮鉢を置いて、色とりどりの花を浮かべて装飾するもので、中央区の魅力スポットづくりとして取り組んでいる。今回は、年末年始に3箇所（亀が池八幡宮、氷川神社、相模原駅）で行う予定である。初詣の際にでも機会があれば見ていただきたい。また、このようなイベント等については、中央区のホームページやSNSでも発信しており、今後も発信していくのでご覧いただきたい。

3 閉会

以 上

第7期第8回相模原市中央区区民会議（全体会） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	飯 島 泰 裕	学識経験者（青山学院大学）	会 長	出席
2	入 谷 利 郎	小山地区まちづくり会議		出席
3	小 川 紳 夫	相模原市公民館連絡協議会		出席
4	加賀谷育子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		出席
5	桑水流良光	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
6	小 林 充 明	上溝地区まちづくり会議	副会長	出席
7	斎 藤 奈 美	特定非営利活動法人 and Advance		出席
8	酒 井 志 保	相模原市PTA連絡協議会		出席
9	坂 本 洋 三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
10	清 水 洋 子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
11	代 田 修	田名地区まちづくり会議		出席
12	末 永 暁 子	横山地区まちづくり会議		出席
13	鈴 木 泰 信	中央地区まちづくり会議		出席
14	高 橋 采 花	公募委員		欠席
15	田 所 豊	相模原交通安全協会		欠席
16	丹 波 晴 道	清新地区まちづくり会議		出席
17	中 村 太 郎	相模原商工会議所		出席
18	原 田 克 也	一般社団法人相模原市医師会		欠席
19	水 谷 好 男	公益社団法人相模原市観光協会		欠席
20	森田麻里子	公募委員		出席
21	八 木 貴 弘	公益社団法人相模原青年会議所		欠席
22	八 木 鉄 雄	星が丘地区まちづくり会議		出席
23	山 口 信 郎	大野北地区まちづくり会議		出席
24	横 山 志 穂	公募委員		出席
25	割 柏 秀 規	光が丘地区まちづくり会議		出席